

### 地域ビルダーとしてSDGsへの取り組みを宣言 SBT・RE100の取り組みも推進

エコワークス（福岡県福岡市、小山貴史社長）は、地域ビルダーとして、いち早くSDGsへの取り組みを宣言した。また、SBT(Science Based Targets)・RE100の取り組みも開始している。

SDGsは、2015年9月に開催された国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標。

とくに国際的な事業を行う企業にとっては、ESG投資（企業における環境、社会問題、企業統治を重視する投資手法）といった観点でもSDGsへ取り組むことが強く求められており、事業活動に大きな影響を及ぼす要素になっている。

こうしたなか、エコワークスでは、(一財)日本建築センターがまとめた「建築産業にとってのSDGs/持続可能な開発目標」に基づき、SDGsへの取り組みを進めていくことを宣言した。

エコワークスのような地域ビルダーにとっては、世界的な投資市場から資金調達を行う必要性は少ない。それでもSDGsへ取り組む理由について小山社長は、「我々は未来の世代に対して、今の地球環境を残していくため、持続可能な事業を行う責任をもっている」と語る。

また、「SDGsで定められた17のゴールと169のターゲットに基づき、事業活動を見直すことで、今後の進むべき方向性が明確になる。さらに、事業活動の社会的な意味をはっきりさせることで、社員のモチベーションを高めることにもつながる」と指摘する。

#### 目標を定量的に設定 これから取り組む中小企業の参考に

エコワークスでは、ホームページなどでSDGsの17のゴールに応じた事業活動と将来的な目標を発信している。将来的な目標については、漠然とした目標ではなく、出来るだけ定量的な目標を

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です  
世界を変えるための17の目標

**エコワークスとSDGs**  
エコワークスは、環境建築のトップランナーとして、住まいづくりを通して、SDGs(持続可能な開発目標)を積極的に推進し、社会の持続的発展に貢献しています。

**次世代につなぐ住まい**  
将来的なエネルギーコストの上昇、建物老朽化のリスクに備えた住宅を提供します。  
• 省エネ・省コストの普及により、エネルギーに乏しい脆弱な社会の実現へ  
• 一歩先ゆく住まいを追求するため、2050年基準の住まいづくりに  
• 建築物住宅性能を標準化し、資産価値の下がらない家づくりを推進

**事業拡大と環境保全の両立**  
脱炭素社会の実現に向け、高い環境目標にチャレンジし続けます。  
• 中小企業版SBTによる削減目標の設定  
• うちエコ診断による省エネアドバイスが、未来への地球環境貢献として「環境分野」3冠達成

**いつも安心・快適な住まい**  
徹底的なシックハウス対策によるキレイな空気環境と最高レベルの耐震性能で、家族を守ります。  
• 赤ちゃん・高齢者の空気環境で、誰もが快適に暮らせる住まいを創る  
• 住まいの中で、事故が起きてはいけない  
• ヒートショックのない高気密・高断熱な住まいを  
• 超高レベルの耐震等級により、万が一の災害時も住まう人にとって一番安心の場所であること

**豊かな緑を守る住まいづくり**  
厳選素材にこだわり、緑の循環を実現します。  
• 地域資源の木の住まいづくりで自然を守る

**エコワークスSDGsサイトURL**  
[www.eco-works.jp/etc/sdgs/](http://www.eco-works.jp/etc/sdgs/)  
エコワークス SDGs

**トップランナーとしての責務**  
環境建築のトップランナーとして、私たちのノウハウを共有し、環境保全へ取り組まします。  
• 九州から日本の住まいを豊かに「21世紀産業界」  
• 熊本県産への産地支援のためにできることを

**プロフェッショナリズムの追求**  
働きやすい環境で常に学び続けることで、プロとして社会に貢献する人材を輩出します。  
• 「学社」で社員の自己実現を支援  
• 産休制度の確立など、女性も働きやすい職場環境へ

ホームページなどを通じてSDGsへの取り組みを紹介

設定するように心がけたという。

一方で、環境省が行う「脱炭素経営による企業価値向上促進プログラム」中小企業版2℃目標(SBT)・RE100の設定支援事業を受けて、中長期の温室効果ガス排出目標も設定した。SBTとは、世界の平均気温の上昇を「2℃未満」に抑えるために、企業に対して科学的な知見に基づいた削減目標を設定することを求めるイニシアチブ。RE100は、事業活動で使用するエネルギーを全て再生可能エネルギーで賄おうというものだ。こうした取り組みを通じて、これからSDGsやSBT、RE100に取り組む中小企業の参考になればと考えているという。

SDGsの17のゴールを見ていくと、地域ビルダーだからこそできる取り組みが高く評価される可能性がある要素も多い。それだけに、SDGsへの取り組みを通じて、地域ビルダーが自社の事業活動を整理し、その内容を広く発信することで、地域での信頼を獲得することにつながりそうだ。